

## 「平成 20 年度教室業績 医学部 眼科学教室」

### I 口演

1. 小林 泉, 野田英一郎, 井上 真, 永本敏之: 眼窩頭蓋底外傷の 1 例. 第 49 回東京多摩地区眼科集談会, 三鷹, 平成 20 年 4 月 5 日.
2. 藤森重人, 浜由起子, 鈴木由美, 野田英一郎, 平形明人: 経線弱視の治療経過について. 第 49 回東京多摩地区眼科集談会, 三鷹, 平成 20 年 4 月 5 日.
3. 平形明人: 黄斑分離様変化に対する硝子体手術. 第 12 回順天堂浦安網膜セミナー, 浦安, 平成 20 年 4 月 10 日.
4. 平形明人: ウイルス感染: 急性網膜壊死の外科的治療. 第 112 回日本眼科学会総会, 横浜, 平成 20 年 4 月 17-20 日.
5. 平形明人: 双眼倒像眼底検査のコツ. 第 112 回日本眼科学会総会, 横浜, 平成 20 年 4 月 17-20 日.
6. 井上 真: 眼科手術機器の原理と実際-硝子体手術装置. 第 112 回日本眼科学会総会, 横浜, 平成 20 年 4 月 17-20 日.
7. 慶野 博: サブスペシャリティーサンデー9、後眼部疾患 ぶどう膜炎診療の進歩、抗 TNF- $\alpha$  抗体インフリキシマブによるベージェット病治療の新たな展開. 第 112 回日本眼科学会総会, 横浜, 平成 20 年 4 月 17-20 日.
8. 慶野 博, 渡辺交世, 瀧和歌子, 早川るり子, 岡田アナベルあやめ: 最近の杏林アイセンターにおける強膜炎の臨床像. 第 112 回日本眼科学会総会, 横浜, 平成 20 年 4 月 17-20 日.
9. 田中伸茂, Satchin Panda<sup>1</sup> (<sup>1</sup>ソーク研究所): RGS16 の網膜内発現パターン. 第 112 回日本眼科学会総会, 東京, 2008 年 4 月 17-20 日.
10. 山本亜希子, 杉谷篤彦, 廣田和成, 岡田アナベルあやめ, 樋田哲夫: 新生血管黄斑症に対する硝子体内薬剤投与後の一過性眼圧上昇. 第 112 回日本眼科学会総会, 横浜, 平成 20 年 4 月 17-20 日.
11. 井上 真: 脈絡膜剥離を伴う網膜剥離への小切開硝子体手術. 第 33 回 RETINA の会, 横浜, 平成 20 年 4 月 18 日.
12. Hatori M, Zhu Q, Yelamanchili SV, Piamonte V, Tanaka N, Panda S: The role of arrestin-melanopsin interaction in melanopsin function. ARVO, Fort Lauderdale, Apr. 27- May 1, 2008.
13. Tanaka N, Panda S: The expression pattern of RGS16 in mouse retina. ARVO, Fort Lauderdale, Apr. 27- May 1, 2008.
14. Panda S, Piamonte V, Steffy BM, Wiltshire T, Tanaka N, Gill S, Tarantino L: Novel

- point mutation in the mouse Nrl gene causes developmental reprogramming of the retina. ARVO, Fort Lauderdale, Apr. 27- May 1, 2008.
15. Keino H, Niikura T, Wada Y, Okada AA.: Therapeutic effect of the IL-12/IL-23 inhibitor STA5326 in experimental autoimmune uveoretinitis. ARVO, Fort Lauderdale, Apr 27-30, 2008.
  16. Ninomiya Y, Hirakata A, Hiraoka T, Kunita D, Inoue M, Oshitari K, Sugitani A, Futagami S, Miki D, Hida T: Clinical features of endophthalmitis after cataract surgery evaluated by incision types. ARVO, Fort Lauderdale, May 1-4, 2008.
  17. Miyazawa A, Inoue M, Hirota K, Sano RY, Hirakata A, Hida T, Nishiyama K, Yoshino H: Higher incidence of carotid stenosis in patients with central retinal artery occlusion. ARVO, Fort Lauderdale, May 1-4, 2008.
  18. 井上 真, 平形明人: 内境界膜剥離が有効であった近視性網膜分離の1例. 第6回東京黄斑疾患研究会, 東京, 平成20年5月17日.
  19. 平形明人: 糖尿病網膜症に対する硝子体手術の戦略. 第2回愛宕眼科手術フォーラム, 東京, 平成20年5月19日.
  20. Okada AA: "Uveitis in Japan" at the Macula Conference, Department of Ophthalmology, Massachusetts Eye and Ear Infirmary, Harvard Medical School, Boston, Jun 2, 2008.
  21. Keino H, Niikura T, Wada Y, Okada AA.: Therapeutic effect of the IL-12/IL-23 inhibitor STA5326 in experimental autoimmune uveoretinitis. Meeting of the Federation of Clinical Immunology Societies, Boston, Jun 5-9, 2008.
  22. 平形明人: 網膜剥離. 第7回硝子体手術ビデオセミナー「硝子体手術のTips&Pitfalls」—学会では言えない本音を語ります—. 第7回硝子体手術ビデオセミナー, 東京, 平成20年6月8日.
  23. 永本敏之: 教育セミナー1 眼科手術教育の理想と現実・「白内障手術指導医の育成」. 第47回日本白内障学会・第23回日本眼内レンズ屈折手術学会, 東京, 平成20年6月20-22日.
  24. 永本敏之: 教育セミナー4 白内障の診方・「成熟・過熟・膨潤白内障の診方」. 第47回日本白内障学会・第23回日本眼内レンズ屈折手術学会, 東京, 平成20年6月20-22日.
  25. 井上 真: 眼底疾患からみた適応上の問題点と可能性. シンポジウム4「多焦点眼内レンズの導入法」. 第47回日本白内障学会・第23回日本眼内レンズ屈折手術学会, 東京, 平成20年6月20-22日.
  26. 井上 真: ここで差がつく! 白内障手術のQuality Management. 同時手術のQuality Management. 第31回JSCRS イブニングセミナー, 東京, 平成20年6月20-22日.

27. 中野敦雄, 渡辺交世, 並木 泉, 永本敏之: infusion misdirection syndrome の発生と前房深度. 第 23 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 東京, 平成 20 年 6 月 20-22 日.
28. 渡辺交世: 教育セミナー1・白内障の診方「スリットランプを使った前・後嚢下白内障の術前診断」. 第 47 回日本白内障学会・第 23 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 東京, 平成 20 年 6 月 20-22 日.
29. 岡田アナベルあやめ: ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎に対するインフリキシマブの効果. レミケード効能追加 1 周年記念講演会, 東京, 平成 20 年 6 月 21 日.
30. Okada AA: "Teaching practical ophthalmic skills to medical students," Educational Subspecialty Day, World Ophthalmology Congress, Hong Kong, Jun 28-Jul 2, 2008.
31. Okada AA: "Challenging retinal cases," World Ophthalmology Congress, Hong Kong, Jun 28-Jul 2, 2008.
32. Tsuchiya M, Hirota K, Inoue M, Hirakata A: The intraoperative view of vitreous surgery through the aspherical intraocular lens. World Ophthalmology Congress 2008. Hong Kong, Jun 28-Jul 2, 2008.
33. Hirota K, Inoue M, Miyazawa A, Sano RY, Hirakata A, Hida T, Nishiyama K, Yoshino H: Higher incidence of carotid stenosis in patients with central retinal artery occlusion. World Ophthalmology Congress 2008. Hong Kong, Jun 28-Jul 2, 2008.
34. 永本敏之: 小児眼内レンズの適応・術式・成績. 第64回日本弱視斜視学会・第33回日本小児眼科学会総会, 東京, 平成20年7月4-5日.
35. 岡田アナベルあやめ: 免疫抑制薬一本邦の使用. 第42回日本眼炎症学会, 福岡, 平成20年7月4日-6日.
36. 渡辺交世, 佐藤康彦, 慶野 博, 宮藤昭彦, 川上速人, 岡田アナベルあやめ: 実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎における眼内high mobility group box (HMBG)-1の発現. 第42回日本眼炎症学会, 福岡, 平成20年7月4日.
37. 永本敏之: 小瞳孔白内障手術攻略法. 第 119 回神奈川県眼科集談会, 横浜, 平成 20 年 7 月 10 日.
38. 平岡智之: 網膜硝子体. 都内大学眼科レジデント講習会, 東京, 平成 20 年 7 月 12 日.
39. 山光智子, 奥田恵美, 井上 真: 高度遠視眼を合併した白内障に対して白内障トリプル手術を行った一例. 第 46 回北日本眼科学会, 盛岡, 平成 20 年 7 月 12 日-13 日.
40. 松崎 淳, 谷内修太郎, 井上 真, 平形明人: 網膜前出血に YAG レーザーが有効であった一例. 第 46 回北日本眼科学会, 盛岡, 平成 20 年 7 月 12 日-13 日.
41. 山光智子, 篠田 肇, 川村亮介, 木村肇二郎, 井上 真: 小切開硝子体手術, 空気タンポナーデを使用した黄斑円孔手術. 第 46 回北日本眼科学会, 盛岡, 平成 20 年 7 月 12 日-13 日.
42. 井上 真: 硝子体黄斑牽引症候群で網膜下液は吸引すべきか? 第 3 回信濃町研究会, 東京, 平成 20 年 7 月 30 日.
43. 平形明人: 硝子体手術に使用するシリコンオイルについて. C3F8 ガス, SF6 ガスシ

- リコーンオイルインストラクションコース，東京，平成20年8月9日。
44. 井上 真：多焦点眼内レンズのOCT所見。第10回 Japan Macula Club，蒲郡，平成20年8月24日。
  45. 渡辺敏樹，気賀沢一輝：視神経に発症した血管芽腫と思われる一例。第24回真鶴セミナー，熱海，平成20年8月30-31日。
  46. Okada AA: Treatment of cystoid macular edema in uveitis. 7th International Symposium on Uveitis, International Uveitis Study Group, Lake Constance, Sep 10, 2008.
  47. Okada AA, Keino H, Watanabe T, Taki W: Short-term results on the use of infliximab for refractory uveitis in Behcet's disease. 7th International Symposium on Uveitis, International Uveitis Study Group. Lake Constance, Sep 9-12, 2008.
  48. 気賀沢一輝：プライマリ・ケアと専門医療における医師と患者。第9回ロービジョン学会学術総会，東京，平成20年9月19-21日。
  49. 井上 真：黄斑部疾患に対する極小切開硝子体手術。倉敷眼科コロシウム，倉敷，2008年9月27日。
  50. 井上 真：「専門施設に紹介するのは，どのタイミング？」，「糖尿病網膜症，黄斑浮腫が良くなるしない」第23回千葉県眼科手術懇話会，市川，平成20年10月4日。
  51. 岡田アナベルあやめ：硝子体注射の注意点。マクジェン新発売記念講演in Tokyo，東京，平成20年10月5日。
  52. 井上 真：小切開硝子体手術の適応と限界。第2回網膜硝子体疾患検討会。札幌，平成20年10月11日。
  53. 渡辺敏樹<sup>1</sup>，気賀沢一輝，平形明人（<sup>1</sup>ワタナベ眼科）：高齢男性に発症した特発性頭蓋内圧亢進症によると思われるうっ血乳頭の1例。第46回日本神経眼科学会総会，新潟，平成20年10月11-12日。
  54. 壺内鉄郎<sup>1</sup>，気賀沢一輝，若倉雅登<sup>2</sup>（<sup>1</sup>独立行政法人・国立病院機構 水戸医療センター 眼科，<sup>2</sup>済安堂 井上眼科病院）：白内障手術をきっかけに発祥したセネストパチーの治療経過について。第46回日本神経眼科学会総会，新潟，平成20年10月11-12日。
  55. 高木峰夫<sup>1, 9</sup>，田中恵子<sup>2</sup>，若倉雅登<sup>3, 9</sup>，鈴木利根<sup>4, 9</sup>，石川均<sup>5, 9</sup>，大久保真司<sup>6, 9</sup>，気賀沢一輝<sup>9</sup>，栗本拓治<sup>7, 9</sup>，敷島敬悟<sup>9</sup>，橋本雅人<sup>9</sup>，大出尚郎<sup>9</sup>，中馬秀樹<sup>9</sup>，清澤源弘<sup>9</sup>，酒井 勉<sup>9</sup>，西澤正豊<sup>8</sup>，阿部春樹<sup>1</sup>，（<sup>1</sup>新潟大，<sup>2</sup>金沢医大，<sup>3</sup>井上眼科病院，<sup>4</sup>獨協医大・越谷，<sup>5</sup>北里大，<sup>6</sup>金沢大，<sup>7</sup>兵庫医大，<sup>8</sup>新潟大，<sup>9</sup>Japan anti-aquaporin-4 antibody-positive optic neuritis study group）：抗アクアポリン-4抗体陽性視神経炎に関する多施設研究第二報：視神経脊髄型MSの視機能との比較。第46回日本神経眼科学会総会，新潟，平成20年10月11-12日。
  56. 平形明人：黄斑疾患の病態総論。平成20年度卒業後研修会，東京，平成20年10月18

日.

57. 平形明人：黄斑疾患に対する極小切開硝子体手術最前線. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
58. 岡田アナベルあやめ：VEGF標的治療の現状と未来. (シンポジウム)：眼感染症・炎症性疾患に対する新治療, 第62回日本臨床眼科学会, 東京, 平成20年10月23日.
59. 堀江大介, 稲見達也, 栗原 崇, 吉野 啓：視神経部分低形成の 7 例. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23 日-26 日.
60. 田中恵津子, 西脇友紀<sup>1</sup>, 尾形真樹, 新井千賀子, 小田浩一<sup>2</sup>, 平形明人 (<sup>1</sup>もり眼科医院<sup>2</sup>東京女子大)：ロービジョン患者の単眼/両眼条件での読書検査結果の差異に関する検討. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
61. 二宮夕子, 小川 学, 井上 真, 平形明人：硝子体黄斑牽引症候群に網膜血管腫様増殖を合併した 1 例. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
62. 廣田和成, 三木大二郎, 平岡智之, 川真田悦子, 平形明人：裂孔原生網膜剥離に対する水晶体温存硝子体手術後の屈折変化. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
63. 小林 泉, 小川 学, 平岡智之, 三木大二郎, 永本敏之, 平形明人：手術関連の脈絡膜出血例の検討. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
64. 谷内修太郎, 井上 真, 太田一郎<sup>1</sup>, 三宅謙作<sup>1</sup>, 平形明人 (<sup>1</sup>眼科三宅病院)：Miyake-Apple View を用いた小切開硝子体手術における強膜創の観察. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
65. 井上 真, 平形明人, 村上悦男<sup>1</sup> (<sup>1</sup>(株) マニー)：MVR 刃先端形状のトロッカーカニューラを用いた 23G 小切開硝子体手術. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
66. 渡邊敏樹<sup>1</sup>, 気賀沢一輝, 高木峰夫<sup>2</sup>, 田中恵子<sup>3</sup>, 平形明人 (<sup>1</sup>ワタナベ眼科, <sup>2</sup>新潟大・医・眼科, <sup>3</sup>金沢医大・神経内科)：視神経炎を繰り返す抗アクアポリン 4 抗体が陽性であった多発性硬化症の 2 症例. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
67. 生野恭司<sup>1</sup>, 大野京子<sup>2</sup>, 平形明人 (<sup>1</sup>大阪大学・眼科, <sup>2</sup>東京医歯大・眼科)：Bevacizumab 硝子体腔注射の使用実態調査. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
68. 小川 学, 谷内修太郎, 廣田和成, 二神 創, 杉谷篤彦, 平岡智之, 井上 真, 三木大二郎, 平形明人：高度近視眼に合併する牽引黄斑剥離再発例の摘出黄斑上膜の組織学的検討. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
69. 谷内修太郎, 小川 学, 廣田和成, 杉谷篤彦, 平岡智之, 井上 真, 三木大二郎, 平形明人：強度近視に伴う牽引性黄斑剥離に対する内境界膜剥離の影響. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.

70. 中島史絵, 慶野 博, 渡辺交世, 瀧和歌子, 早川るり子, 杉谷篤彦, 岡田アナベルあやめ: 杏林アイセンターにおけるぶどう膜炎, 強膜炎患者の臨床統計. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
71. 井上 真: MVR 刃先端形状のトロッカーカニューラを用いた 23G 小切開硝子体手術. 第 62 回日本臨床眼科学会. 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
72. 井上 真: インストラクションコース IC23. 「初心者・中級者のための増殖膜処理」-MIVS の増殖膜処理-. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
73. 井上 真: インストラクションコース IC39. 「屈折・調節をマスターによろ-マルチフォーカル IOL の検査-」 マルチフォーカル IOL 挿入眼の眼底検査と硝子体手術. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
74. 気賀沢一輝: 眼科における心のケアの 4 つの段階. 第 62 回日本臨床眼科学会総会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
75. 渡辺敏樹<sup>1</sup>気賀沢一輝, 高木峰夫<sup>2</sup>田中恵子<sup>3</sup>, 平形明人 ( <sup>1</sup>ワタナベ眼科, <sup>2</sup>新潟大, <sup>3</sup>金沢医大神経内科): 視神経炎を繰り返す抗アクアポリン 4 抗体が陽性であった多発性硬化症の 2 症例. 第 62 回日本臨床眼科学会総会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
76. 山添克弥<sup>1</sup>, 横田怜二<sup>1</sup>, 横山恭典<sup>1</sup>, 佐藤大介<sup>1</sup>, 井上 亮<sup>1</sup>, 江本宜暢<sup>1</sup>, 堀田順子<sup>1</sup>, 堀田一樹<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>亀田総合病院・眼科): 神経線維腫症 1 型に網膜色素変性症を合併した姉弟例. 第 62 回日本臨床眼科学会, 東京, 平成 20 年 10 月 23-26 日.
77. Inoue M: Day surgery for vitreous diseases. The 25th Congress of the Pan-pacific Surgical Association-Japan Chapter, Bangkok, Nov 1-3, 2008.
78. Taniuchi S, Inoue M, Hirakata A: 23-gauge bimanual vitrectomy. The 25th Congress of the Pan-pacific Surgical Association-Japan Chapter, Bangkok, Nov 1-3, 2008.
79. Nakashima C, Inoue M, Hirakata A: Wide-field endoillumination for vitreous surgery. The 25th Congress of the Pan-pacific Surgical Association-Japan Chapter, Bangkok, Nov 1-3, 2008.
80. Okada AA: "Masquerading Infections," Uveitis Subspecialty Day, Annual Meeting of the American Academy of Ophthalmology, Atlanta, Nov 8, 2008.
81. 山本亜希子, 杉谷篤彦, 田中伸茂, 谷内修太郎, 岡田アナベルあやめ: 血管新生黄斑症に対する抗腫瘍壊死因子- $\alpha$ 療法. 第 10 回西東京眼科フォーラム, 吉祥寺, 平成 20 年 11 月 12 日.
82. 吉野 啓: 当科における緑内障手術治療. 第 10 回西東京眼科フォーラム, 吉祥寺, 平成 20 年 11 月 12 日.
83. 三木大二郎: 網膜硝子体手術の変遷, 平成 20 年 11 月 14 日 東静岡眼科医会, 三島, 平成 20 年 11 月 14 日.
84. 三木大二郎: 糖尿病と目-手遅れになる前に-西多摩医師会市民健康講座, 羽村, 平成 20 年 11 月 15 日.

85. 井上 真：黄斑浮腫の治療。平成 20 年度東京都眼科医会卒後研修研究会。黄斑疾患コース。東京，2008 年 11 月 15 日。
86. 平形明人：乳頭ピット黄斑症候群の治療の変遷。第 1 回樋田メモリアル網膜ラウンジ，東京，平成 20 年 11 月 22 日。
87. 二宮夕子，平形明人，中山真紀子，井上 真，田中伸茂：乳頭ピット黄斑症候群における赤外光と自発蛍光の意義。第 47 回日本網膜硝子体学会総会，京都，平成 20 年 11 月 28-30 日。
88. 平形明人：眼内タンポナーデ物質再考！。第 47 回日本網膜硝子体学会総会，京都，平成 20 年 11 月 28-30 日。
89. Hirakata A, Inoue M, McCuen B, Hida T: Vitrectomy without laser photocoagulation and gas tamponade for optic disc pit maculopathy. The 3rd Congress of the Asian Pacific Vitreo-Retinal Society, Pusan, Dec 5-6, 2008.
90. Inoue M: A clue of wound construction in micro incision vitrectomy surgery. 23-gauge cannula system with microvitreoretinal blade trocar. The 3rd Congress of the Asian Pacific Vitreo-Retinal Society, Pusan, Dec 5-6, 2008.
91. 平形明人：術後眼内炎に対する硝子体手術。第 32 回日本眼科手術学会総会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
92. 永本敏之：教育セミナー白内障手術-リカバリーの基本・「最後の核片処理以降の後囊破損」。第 32 回日本眼科手術学会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
93. 永本敏之：JSOS スキルトランスファー「後囊破損処理」。第 32 回日本眼科手術学会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
94. 永本敏之：シンポジウムみんなで考えよう眼科手術の諸問題・「手術教育をどうするか」。第 32 回日本眼科手術学会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
95. 永本敏之：ビデオ展示「先天白内障に対する眼内レンズ挿入術」。第 32 回日本眼科手術学会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
96. 三木大二郎，塚原逸郎，清川正敏，稲用和也，平岡智之，廣田和弘：硝子体手術。第 32 回日本眼科手術学会総会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
97. 井上 真：インストラクションコース「経結膜小切開硝子体手術」第 2 回各論編「25G 網膜剥離手術」。第 32 回日本眼科手術学会総会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
98. 井上 真：増殖糖尿病網膜症における小切開硝子体手術。硝子体手術徹底討論；20G から 23, 25G 時代へ。第 32 回日本眼科手術学会総会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
99. 加藤 聡，緒方奈保子，三木大二郎，森隆三郎，川島秀俊，安藤伸朗：網膜光凝固術の適応と限界。第 32 回日本眼科手術学会総会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
100. 平岡智之（スキルトランスファー）：硝子体。第 32 回日本眼科手術学会総会，神戸，平成 21 年 1 月 23-25 日。
101. 中野敦雄，渡辺交世，並木 泉，永本敏之：強角膜切開白内障手術 2.4mm と 3.0 mm の

- 自己閉鎖率. 第 32 回日本眼科手術学会, 神戸, 平成 21 年 1 月 23-25 日.
102. 中山真紀子, 宮澤顕子, 井上 真, 平形明人: 黄斑疾患の小切開硝子体手術における術後視力の比較. 第 32 回日本眼科手術学会総会, 神戸, 平成 21 年 1 月 23-25 日.
103. 鈴木高佳, ビッセン宮島弘子, 吉野真未, 川村亮介, 井上 真: 回折型多焦点眼内レンズ挿入後に網膜硝子体疾患治療を要した 3 例. 第 32 回日本眼科手術学会総会, 神戸, 平成 21 年 1 月 23-25 日.
104. 井上 真: MVR トロッカーを用いた 23G ワンステップカニューラシステム. ビデオ展示 7 網膜・硝子体分野. 第 32 回日本眼科手術学会総会, 神戸, 平成 21 年 1 月 23-25 日.
105. 井上 真: MIVS は終わりが肝心. 第 32 回日本手術学会 共催セミナー, 神戸, 平成 21 年 1 月 23-25 日.
106. 井上 真: MIVS 創口の vitreous wick と低眼圧. 第 2 回 MIVS ワークショップ, 神戸, 平成 21 年 1 月 25 日.
107. 吉野 啓: シンポジウム 6 緑内障—血管新生緑内障に対する抗 VEGF 療法の応用— 抗 VEGF 抗体を用いた緑内障治療戦略. 第 32 回日本眼科手術学会, 神戸, 平成 21 年 1 月 23-25 日.
108. 井上 亮, 横山恭典, 堀田順子, 堀田一樹: 巨大視神経乳頭と裂孔原性網膜剥離を伴った Noonan 症候群の一例. 第 32 回日本眼科手術学会, 神戸市, 平成 21 年 1 月 23-25 日.
109. 渡辺交世: ビデオ展示「ぶどう膜欠損症の白内障手術」. 第 32 回日本眼科手術学会, 神戸, 平成 21 年 1 月 23 -25 日.
110. 三木大二郎: 網膜剥離の治療—強膜バックリング Vs 硝子体手術—. 第 3 回多摩眼科勉強会, 立川, 平成 21 年 1 月 30 日.
111. 平形明人: 黄斑分離症の治療と病理. 第 2 回 TMD 眼科研究会, 東京, 平成 21 年 1 月 31 日.
112. 岡田アナベルあやめ: 眼炎症に対する生物学的製剤療法. 東京眼炎症フォーラム, 東京, 平成21年2月5日.
113. 井之川宗右, 工藤かんな, 永本敏之: 杏林アイセンターにおけるアcantアメーバ角膜炎の治療成績. 第 33 回角膜カンファレンス, 大阪, 平成 21 年 2 月 19-21 日.
114. 井之川宗右, 田聖 花<sup>1</sup>, 島崎 潤<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京歯大・市川)(イブニングセミナー): 全層角膜移植術中に発生した稀な合併症の 1 例. 第 33 回角膜カンファレンス, 大阪, 平成 21 年 2 月 19-21 日.
115. 井上 真: 黄斑疾患の診断と治療. 府中市眼科医学会学術講習会. 東京, 平成 21 年 2 月 19 日.
116. 平形明人: 眼内炎の硝子体手術. 第 151 回岡山県眼科医会生涯教育講座, 岡山, 平成 21 年 2 月 22 日.
117. 平形明人: 乳頭ピット黄斑症候群の治療の変遷. 第 14 回 MEC 学術研究会, 名古屋, 平成 21 年 2 月 28 日.



118. 平形明人：黄斑分離様変化に対する硝子体手術．第 3 回東北眼科フォーラム，仙台，平成 21 年 3 月 7-8 日．
119. 岡田アナベルあやめ：ベーチェット病に対するレミケード治療．千葉，平成21年3月12日．
120. 岡田アナベルあやめ：ぶどう膜炎の新時代．第69回中央眼科集談会，東京，平成21年3月27日．
121. 平形明人：加齢に伴う眼底の病気．第 2095 回東京江戸川ロータリークラブ，東京，平成 21 年 3 月 30 日．

## II 論文

1. 平形明人，大野京子<sup>1</sup>，生野恭司<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京医歯大・眼科，<sup>2</sup>大阪大学・眼科)：強度近視眼底研究における現時点での理解と問題点．日本強度近視眼底研究会，日眼会誌 112：127-135，2008．
2. 平形明人：網膜硝子体疾患治療における長期滞留ガス．日眼会誌 112：3-6，2008．
3. 永本敏之：先天白内障手術の注意事項．IOL&RS 22:423-425，2008．
4. 永本敏之：白色白内障・私の攻略法．IOL&RS 22:448-449，2008．
5. Tano Y on behalf of the Ophthalmic PDT Study Group (including Okada AA)：Guidelines for PDT in Japan. *Ophthalmology* 115:585，2008．
6. Kobayashi I, Inoue M, Okada AA, Keino H, Wakabayashi T, Hirakata A: Vitreous surgery for macular hole in patients with Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Clin Exp Ophthalmol* 36:861-864，2008．
7. Keino H, Sato Y, Watanabe T, Niikura T, Wada Y, Okada AA: Therapeutic effect of potent IL-12/IL-23 inhibitor, STA5326 in experimental autoimmune uveoretinitis. *Arthritis Res Ther* 10:R122，2008．
8. Keino H, Usui Y, Oh-I K, Usui M, Goto H: Correlation between cerebrospinal fluid cell count and cerebrospinal fluid level of chemokine, monokine induced by interferon-gamma in Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Acta Ophthalmol in press*
9. Okada AA, Keino H, Watanabe T, Taki W, Hayakawa R: Recurrence of acute anterior inflammation after intravitreal injection of bevacizumab in uveitis. *Jpn J Ophthalmol* 53:182-184，2009．
10. 岡田アナベルあやめ：ぶどう膜炎検査の正しい使い方．*あたらしい眼科* 25:1471-1472，2008．
11. Iwasaki T, Matsuno K, Yamamoto M, Kawahata D, Keino H: Penicillium endophthalmitis in necrotizing scleritis treated with topical corticosteroid and cyclosporin A. *Jpn J Ophthalmol* 52:506-8．2008．

12. Sugita S, Horie S, Nakamura O, Futagami Y, Takase H, Keino H, Aburatani H, Katunuma N, Ishidoh K, Yamamoto Y, Mochizuki M: Retinal pigment epithelium-derived CTLA-2alpha induces TGFbeta-producing T regulatory cells. *J Immunol* 181:7525-36, 2008.
13. 慶野 博: ベーチェット病のぶどう膜網膜炎. *成人病と生活習慣病* 38: 354-355, 2008.
14. 慶野 博: 全身性エリテマトーデスの眼底病変. *成人病と生活習慣病* 38: 478-479, 2008.
15. Iwase T, Tanaka N, Sugiyama K: Postoperative refraction changes in phacoemulsification cataract surgery with implantation of different types of intraocular lens. *Eur J Ophthalmol* 18:371-376, 2008.
16. Hatori M, Le H, Vollmers C, Keding SR, Tanaka N, Schmedt C, Jegla T, Panda S: Inducible ablation of melanopsin-expressing retinal ganglion cells reveals their central role in non-image forming visual responses. *PLoS ONE* 3: e2451, 1-10, 2008.
17. Lin B, Koizumi A, Tanaka N, Panda S, Masland RH: Restoration of visual function in retinal degeneration mice by ectopic expression of melanopsin. *Proc Natl Acad Sci USA* 105: 16009-16014, 2008.
18. 渡辺交世, 中野敦雄, 並木 泉, 永本敏之: ぶどう膜欠損症における白内障手術, 眼科手術, 21: 519-523, 2008.
19. 中島史絵, 渡辺交世, 慶野 博, 岡田アナベルあやめ: 視神経網膜炎を発症したネコひっかき病の1例. *あたらしい眼科* 25:1163-1166, 2008.
20. 坂本泰二, 樋田哲夫, 田野保雄, 根木昭, 竹内忍, 石橋達朗, 井上幸次, 大黒伸行, 岡田アナベルあやめ: 眼科領域におけるシリコーンオイル使用状況全国調査結果. *日眼会誌*112:790-800, 2008.
21. 五月女典久, 平形明人, 井上 真, 樋田哲夫: 乳頭小窩黄斑症に類似した網膜分離を呈した硝子体黄斑牽引症候群の1例. *あたらしい眼科* 25: 109-113, 2008.
22. 江本宜暢<sup>1</sup>, 平形明人, 三木大二郎, 川真田悦子, 岡田アナベルあやめ, 樋田哲夫, 知念克也<sup>2</sup>, 安藤伸朗<sup>3</sup> (<sup>1</sup>亀田総合病院・眼科, <sup>2</sup>杏林大・医・病理学, <sup>3</sup>済生会新潟第二病院・眼科): Penicillium 感染による白内障術後眼内炎の1例. *眼臨紀* 1: 122-127, 2008.
23. 二宮夕子, 平形明人, 平岡智之, 國田大輔, 井上 真, 忍足和浩<sup>1</sup>, 杉谷篤彦, 二神創, 三木大二郎, 樋田哲夫 (<sup>1</sup>忍足眼科): 白内障術後眼内炎における背景因子からみた臨床像の検討. *日眼会誌* 112: 525-530, 2008.
24. 忍足直子<sup>1</sup>, 平形明人, 堀江大介, 井上 真, 樋田哲夫, 吉野秀朗<sup>2</sup>(<sup>1</sup>忍足眼科, <sup>2</sup>杏林大・医・第2内科): 網膜中心動脈閉塞症における全身合併症の検討. *あたらしい眼科*

- 25:109-113, 2008.
25. 浜由起子, 平形明人, 柳沼重晴<sup>1</sup>, 杉谷篤彦, 井上 真, 前田利根<sup>2</sup>, 樋田哲夫 (<sup>1</sup>海谷眼科, <sup>2</sup>オリンピック眼科病院) : Bevacizumab 硝子体内投与が有効であった若年増殖糖尿病網膜症の1例. 眼科 50:461-466, 2008.
  26. Nishina S, Suzuki Y, Azuma N: Exudative retinal detachment following cataract surgery in Hallermann-Streiff syndrome. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 246: 453-455, 2008.
  27. Taki W<sup>1</sup>, Ohira A<sup>1</sup>, Hirakata A (<sup>1</sup>Wakaba Eye Hospital) : Macular edema from distant branch retinal vein occlusion subsiding after vitrectomy. Jpn J Ophthalmol 53:184-186, 2008.
  28. Futagami S, Inoue M, Hirakata A: Removal of internal limiting membrane for recurrent myopic traction maculopathy. Clin Exp Ophthalmol 36:782-785, 2008.
  29. 高橋寛二, 岡田アナベルあやめ : AMD : どこまで治療できる. 日眼会誌 113:121, 2009.
  30. 岡田アナベルあやめ : 硝子体内注射. 眼科手術 22:62-64, 2009 .
  31. Inoue M, Hirakata A, Iizuka N, Futagami S, Hida T: Tractional macular detachment associated with optic disc astrocytic hamartoma. Acta Ophthalmol 187:239-240, 2009.
  32. Nakajima T, Suzuki K, Yoshida K, Ishida S, Inoue M: Soft-shell technique to maintain view of fundus following hemorrhage during vitrectomy in patient with neovascular glaucoma. Retinal Cases & Brief Reports 2:148-150, 2008.
  33. Sato EA, Shinoda K, Inoue M, Ohtake Y, Kimura I: Reduced choroidal blood flow can induce visual field defect in open angle glaucoma patients without intraocular pressure elevation following encircling scleral buckling. Retina 28:493-7, 2008.
  34. Torii H, Miyata H, Sugisaka E, Ichikawa Y, Shinoda K, Inoue M: Bilateral endophthalmitis in patient with bacterial meningitis caused by Streptococcus pneumoniae. Ophthalmologica 222:357-359, 2008.
  35. Kawamura R, Inoue M, Shinoda K, Bissen-Miyajima H: Intraoperative findings during vitreous surgery after implantation of diffractive multifocal intraocular lens. J Cat Ref Surg 34:1048-1049, 2008.
  36. Chen CJ, Satofuka S, Inoue M, Ishida S, Shinoda K, Tsubota K: Suprachoroidal hemorrhage caused by breakage of 25-gauge cannula. Ophthalmic Laser Surgery Imaging 39:323-324, 2008.
  37. Ikebe T, Takaki Y, Kishi D, Kono H, Shinoda K, Inoue M, Nakatsuka K: Visual Perception of Luxated Intraocular Lens by Patient. Br J Ophthalmol 92:1563-1564, 2008
  38. Inoue M, Shinoda K, Ishida S: Vitrectomy combined with glial tissue removal at

the optic pit in a patient with optic disc pit maculopathy: a case report. Journal of Medical Case Reports 2:103, 2008.

39. 吉野 啓：線維柱帯切除術—輪部基底と円蓋部基底. 眼科手術 21：167—171, 2008.
40. 高橋清喜, 稲見達也, 栗原 崇, 吉野 啓：診断に苦慮した plateau iris 症候群の一症例. 眼臨紀 1：653—656, 2008.
41. 栗原 崇, 稲見達也, 吉野 啓：Plateau iris 症候群の長期経過. 眼科臨床紀要 1：678—681, 2008.
42. 気賀沢一輝：長期経過を観察し得た眼科領域ネセストパチーの1例. 神眼 25:358-364, 2008.
43. 岩川雅哉<sup>1</sup>, 成田 信<sup>2</sup>, 堀田一樹<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 亀田総合病院・眼科, <sup>2</sup> 亀田総合病院・病理科)：小眼球症を合併した眼窩脂肪腫の1例. 眼臨紀 1：33-36, 2008.
44. 佐生亜希子<sup>1</sup>, 石垣純子<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 亀田総合病院・眼科)：脈絡膜悪性黒色腫. 臨眼 62：1425, 2008.

### Ⅲ 著書

1. 平形明人：術後合併症とその対処法—眼内炎—. 今日から実践！小切開硝子体手術. 門之園一明編. 東京, メジカルビュー, 2008. p.112-117.
2. 平形明人：糖尿病患者の眼底検査は, 定期健康診断時のみでよいですか?. そこが知りたい糖尿病ケア Q&A—臨床現場からの質問に答えます—. 東京, 総合医学社, 2008. p. 24—25.
3. 平形明人：5. 乳頭ピット黄斑症候群. 眼科プラクティス 21 眼底画像所見を読み解く. 田野保雄他編. 東京, 文光堂, 2008. p. 298-305.
4. 平形明人：患者さんから浴びせられる眼科疾患 100 の質問. 坪田一男編. 東京, メディカルレビュー, 2008. p. 144-147.
5. 平形明人：乳頭ピット黄斑症候群. 臨床眼科網膜硝子体診療 update. 寺崎浩子編. 東京, 医学書院, 2008. p. 348-353
6. 平形明人：小児眼底疾患. 今日の治療指針私はこう治療している. 山口徹編. 東京, 医学書院, 2009. p. 1076.
7. 平形明人：高局部裂孔にレーザー凝固は必要か?—. 眼科プラクティス眼科 26 レーザー治療. 田野保雄編. 東京, 文光堂, 2009. p. 175-177.
8. Dick AD, Okada AA, Forrester JV: Practical Approach to Management of Posterior Segment Intraocular Inflammation. Taylor & Francis, New York, 2008.
9. 岡田アナベルあやめ：免疫抑制薬：その上手な使い方. 薬物療法：眼科診療のコツと落とし穴 樋田哲夫, 江口秀一郎編. 東京, 中山書店, 2008. p. 79.

10. 三木大二郎：裂孔原性網膜剥離の強膜バックル手術．眼科診療のコツと落とし穴 2．樋田哲夫，江口秀一郎編．東京，中山書店，2008． p. 52-53
11. 三木大二郎：網膜裂孔の検出法．眼科診療のコツと落とし穴 1．樋田哲夫，江口秀一郎編，東京，中山書店，2008． p. 120-121
12. 三木大二郎：レーザーによる 2 段階網膜剥離手術．眼科プラクティス 26－眼科レーザー治療．田野保雄編．東京，文光堂，2008． p. 184-186
13. 井上 真：極小切開で直そう－黄斑円孔－．【ここまで来た！網膜疾患治療】 眼科インストラクションコース 15．白神史雄編．東京，メジカルビュー社，2008． p. 80-85.
14. 井上 真：アトピー白内障と網膜剥離．【小児眼科診療】7．眼底疾患 6) 小児網膜剥離．眼科プラクティス 20 巻．東京，文光堂，2008． p. 230-233.
15. 井上 真：2. 用意する手術機械・器具．今日から実践！小切開硝子体手術．東京，メジカルビュー社，2008． p. 14-19.
16. 井上 真：硝子体切除．3. 25G 硝子体手術の操作．今日から実践！小切開硝子体手術．東京，メジカルビュー社，2008． p. 24-27.
17. 井上 真：周辺部処理．3. 25G 硝子体手術の操作．今日から実践！小切開硝子体手術．東京，メジカルビュー社，2008． p. 40-45.
18. 井上 真：1. 非接触型 wide field viewing system. 手術顕微鏡の特徴．周辺部処理．3. 25G 硝子体手術の操作．今日から実践！小切開硝子体手術．東京，メジカルビュー社，2008． p. 164-167.
19. 井上 真：25G 硝子体手術のコツと落とし穴．眼科診療のコツと落とし穴 2．手術－後眼部眼窩付属器．東京，中山書店，2008． p. 34-35.
20. 井上 真：トリアムシノロンの tenon 囊下投与による高眼圧症と眼瞼下垂．眼科診療のコツと落とし穴 4．薬物療法．東京，中山書店，2008． 106-107.
21. 井上 真：手術のタイミング 硝子体手術．眼科診療のスキルアップ．白内障・小児・ぶどう膜炎編．眼科インストラクションコース 18．東京，メジカルビュー社，2008． p. 196-201.
22. 井上 真：[眼窩疾患アトラス] 水晶体 白内障術後眼内炎．眼科 50(10)．東京，金原出版，2008． P. 1352
23. 慶野 博：ステロイド療法 眼科診療のコツと落とし穴 4 巻 薬物療法．樋田哲夫，江口秀一郎編．東京，中山書店，2008． p. 64-65.
24. 慶野 博：眼炎症 小児眼科診療 眼科プラクティス 20 巻 樋田哲夫編．文光堂，2008． p. 170-177.
25. 慶野 博，岡田アナベルあやめ：ぶどう膜炎 眼科プラクティス 26 眼科レーザー治療．田野保雄編．東京，文光堂，2008． p. 95-99.
26. Streilein JS, Keino H: CD8+ T regulatory cells in eye derived tolerance. In: Jiang S (Eds): Regulatory T cells and Clinical application. New York, Springer, 2008. p. 473-488.
27. 井上 真：[家庭の医学] 第 7 章 目の病気．東京，小学館，2009． p. 1089-1112.

28. 井上 真：[極小切開硝子体手術]極小切開硝子体手術（特集） 黄斑部以外．あたらしい眼科 25(10)．東京，メディカル葵出版，2008． p.1367-1371.
29. 井上 真：[網膜硝子体診療 update] 手術治療 update（特集）．小切開手術(25G)．臨床眼科 62．東京，医学書院，2008． p.143-149.
30. 井上 真：6．眼底検査．研修で学ぶべき検査技術と知識．眼科検査と，その手順（機能検査）．研修医ノート．東京，診断と治療社，2009． p.120-124.
31. 井上 真：予防的全周光凝固の是非．眼科プラクティス 26 巻．東京，文光堂 2009． p.165.
32. 井上 真：2) 双眼倒像鏡レーザー．外科的網膜治療に用いるレーザー．2．外科的網膜治療眼科プラクティス 26 巻．東京，文光堂，2009． p.158-161.
33. 井上 真：眼底（網膜脈絡膜）疾患 56「55 歳男性です。近視でも乱視でもないのに，この頃，物が歪んで見えるときがあります。どうしてでしょうか？」．眼科疾患 100 の質問．東京，メディカルレビュー社，2009． p.140-141.
34. 井上 真：眼底（網膜脈絡膜）疾患 57「黄斑前膜は手術をすれば元通りになりますか？」．眼科疾患 100 の質問．東京，メディカルレビュー社，2009． p.142-143.

#### IVその他

1. 平形明人：厚生労働省 科学研究費補助金．感覚器障害研究事業分担研究．平成 20 年度．脈絡膜上経網膜電気刺激（STS）法による人工視覚システムの臨床応用．
2. 井上 真．Dialogue with Vitreoretinal Experts 2．2008 年 5 月
3. 井上 真．油断大敵「目の胃潰瘍」夕刊フジ 2008 年 10 月
4. 慶野 博：文部科学省 科学研究費補助金．若手研究 B 平成 20 年度．神経ペプチド誘導制御性 T 細胞による実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎の抑制機構の解明．
5. 気賀沢一輝：第 37 回日本慢性疼痛学会．最新精神医学 71：301-304，2008．